

アクリル積み木② (すくわくプログラム・色遊び⑤)

R7.1.29

天気が良かったので、室内の電気を消しアクリル積み木（子ども達曰く、きらきらつみき）を使い遊びました。

積み木を出した時に太陽の光が当たると「きれいね～」と嬉しそうに言っていました。

前回の事をよく覚えていたようで、遊び始めると、窓に積み木を当てて天井に光を写そうとしたり、天井に向かって積み木を持ち上げたり、「ほくのはどれ？」「わたしのは？」と言いながら積み木の光を写そうと試行錯誤していました。

天井の光が揺れているのを見て「みて！泳いでるよ」と大興奮でした。子どもならではの表現が微笑ましかったです。



思い思いにアクリル積み木を使って楽しんでいました。積み上げた物を「ディズニーランド！」とパーク内にあるお城に見立てたり、丸いパーツを窓に当てて「どこ？」と太陽の光を受けて床にうつる光を探したりしていました。友達が前を通り、友達の洋服に色がうつると「いろがかわった。」と色の変化に気づいていました。



積み上げていた積み木に光が当たり床に色が写っていることを発見。

1人が手を当てると、近くにいた子も気づき段々と手が増えていき、みんなで手にも色が写る様子を楽しんでいました。



床に写った色に気づき、触ろうと手を伸ばしてみたものの、思うように触れず、何度も手を伸ばして動かしていました。



前回は積み木として遊んでいる子が多い印象でしたが、2回目の活動ということで、前回よりも積み木を重ねた時の色の变化や、積み木に光が通った時の色の混ざり方に注目する子が増えていました。